

# 目 次

はじめに

重 田 康 博 (宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員、国際学部教授)

## PART I

シンポジウムプログラム	1
開会のあいさつ	2
中 村 真 (宇都宮大学国際学部長、国際学部教授)	
趣旨説明	3
第1部 講演	
1. 「奥日光の森はどのように形づくられてきたか —自然を活かした観光地づくりにむけて—」	6
大久保 達 弘 (宇都宮大学農学部森林科学科教授)	
2. 「外国人が見つけた奥日光の自然の魅力」	7
森 田 孝 道 (日光自然ガイド協議会・日光自然博物館自然解説員)	
3. “Sustainable Tourism Destinations in Europe and Japan”	11
Bernadett Kiss (CMP S 研究員/ スウェーデン Lund 大学国際産業環境経済研究所講師)	
4. “National park management in Japan and the US”	17
Carl Salk (CMP S 研究員/スウェーデン農業科学大学研究員)	
第2部 留学生によるプレゼンテーション	
国際交流都市日光の再発見	
『奥日光の自然を活かした観光地づくりを留学生と考える』	
1. 「日光!! 日本発脱炭素観光地プロジェクト」Aグループ	20
2. 「提案 外国人に奥日光の魅力を配信する」Bグループ	22
3. 「訪問者が奥日光を楽しめるための提言」Cグループ	24
プレゼンテーションへのコメント	26
伊 東 剛 (日光市観光経済部観光課長、日光市国際交流協会事務局長)	
閉会のあいさつ	28
湯 澤 伸 夫 (宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター長、国際学部教授)	
PART II	
フィールドワーク	
・ Aグループ: 中禅寺湖エリア	29
・ Bグループ: 戦場ヶ原エリア	31
・ Cグループ: 湯ノ湖エリア	34
関連資料	
シンポジウムのアンケート結果	38
小野寺 櫻 子 (宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター)	
グループ別ポスター	41
日光プロジェクトチラシ	44